

2 各部の基本納まり図

2-6 開口部

②下側^(注)

1) 開口部下側の基本納まり

- サッシと見切縁との取り合いは、10mm程度の隙間を設けシーリングを施工します。
- 型によって見切縁が表のように異なります。
- 見切縁と本体の取り合い部にシーリングを施工します。

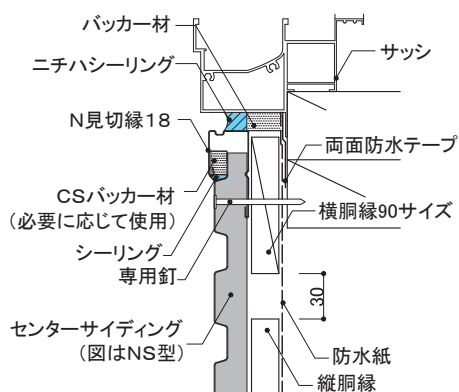
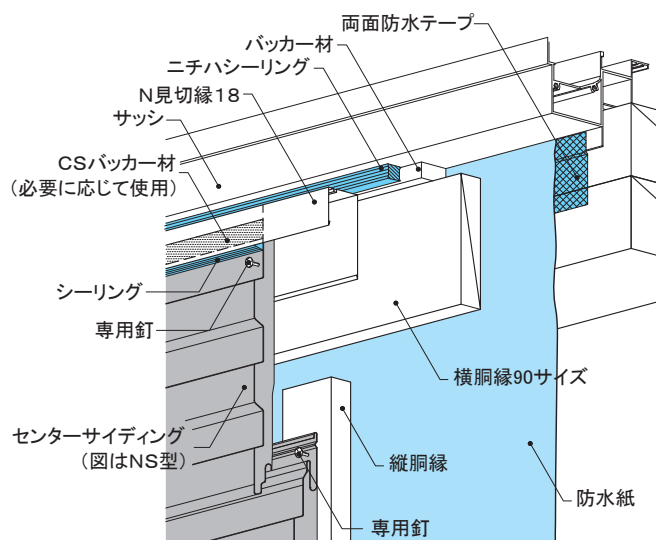
表 部材の設定

FN型、ST型、NS型	N見切縁18
シリーズ、F型、FB型、D型、A型	S見切縁18

※ 廻り縁納めについては、P69を参照してください。
 ※ 開口部に使用する見切縁18、見切コーナーは、以下のいずれかの組み合わせで施工してください。
 ① N見切縁18・N見切コーナー
 ② S見切縁18・S見切コーナー

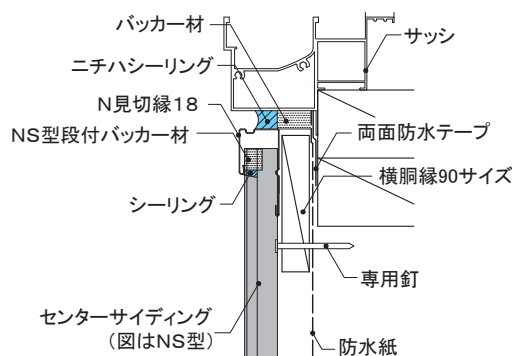
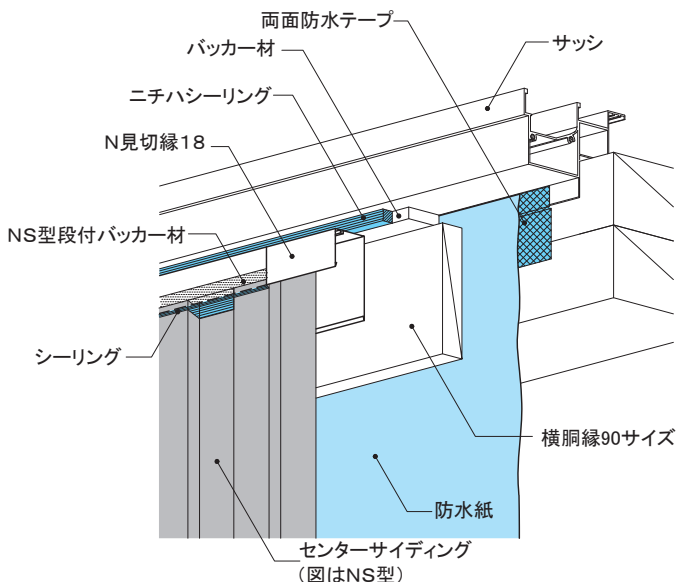
①横張りの場合

- 通気のため、横胴縁90サイズと縦胴縁の間に30mm程度の隙間を設けます。
- サッシ下のセンターサイディングは表面から釘留めします。木下地の場合は専用釘(φ2.75mm×50mm)で、鉄骨下地の場合は専用ビス(P35)で留め付けます。



NS型、シリーズ、ST型、F型、FB型、FN型、D型

②縦張りの場合



NS型、ST型、F型、FB型、FN型、A型

(注) 本仕様は柄特性上、スマートフラットの施工はできません。